前

(前略)

(経済学研究科)

き、当該専攻にそれぞれ同表右欄に掲げる講座を 置く。

経済システム分析専攻 経済理論講座、統計・情 報分析講座、歴史・思想分析講座

経済動態分析専攻 比較制度・政策講座、金融・ 財政講座、市場動態分析講座

現代経済・経営分析専攻 現代経済学講座、国際 経営・経済分析講座、経営管理・戦略講座、市 場会計分析講座、事業創成講座、ファイナンス 工学講座、ビジネス科学講座

(中略)

(工学研究科)

第9条 工学研究科に次表左欄に掲げる専攻を置 第9条 き、当該専攻にそれぞれ同表右欄に掲げる講座を

社会基盤工学専攻 応用力学講座、地殼工学講座、 構造工学講座、構造材料学講座、地盤・水工学 講座

都市社会工学専攻 都市基盤システム工学講座、 都市社会計画学講座、交通マネジメント工学講 座、ライフライン工学講座、社会基盤マネジメ ント工学講座

都市環境工学専攻 地殻環境工学講座、環境デザ イン工学講座、都市空間工学講座、居住空間学 講座、環境情報学講座、ウォーターフロント環 境工学講座、複合構造デザイン工学講座、環境 システム工学講座、環境衛生学講座、ジオフロ ント環境工学講座、総合環境学講座、環境材料 学講座、環境構成学講座

建築学専攻 建築保全再生学講座、人間生活環境 学講座、建築史学講座、建築構法学講座、建築 環境計画学講座、建築設計学講座、建築構造学 講座、建築生産工学講座

機械理工学専攻 機械システム創成学講座、生産 システム工学講座、機械材料力学講座、流体理 工学講座、物性工学講座、機械力学講座

マイクロエンジニアリング専攻 構造材料強度学 講座、ナノシステム創成工学講座、ナノサイエ ンス講座、マイクロシステム創成講座

航空宇宙工学専攻 航空宇宙力学講座、航空宇宙 基礎工学講座、航空宇宙システム工学講座

原子核工学専攻 量子ビーム科学講座、量子物質 工学講座、核エネルギー工学講座

材料工学専攻 材料設計工学講座、材料プロセス 工学講座、材料物性学講座、材料機能学講座

(経済学研究科)

第5条 経済学研究科に次表左欄に掲げる専攻を置|第5条 経済学研究科に経済学専攻を置き、同専攻 に次に掲げる講座を置く。

> 経済理論講座、統計・情報分析講座、歴史・思 想分析講座、比較制度・政策講座、金融・財政講 座、市場動態分析講座、現代経済学講座、国際経 営・経済分析講座、経営管理・戦略講座、市場会 計分析講座、事業創成講座、ファイナンス工学講 座、ビジネス科学講座

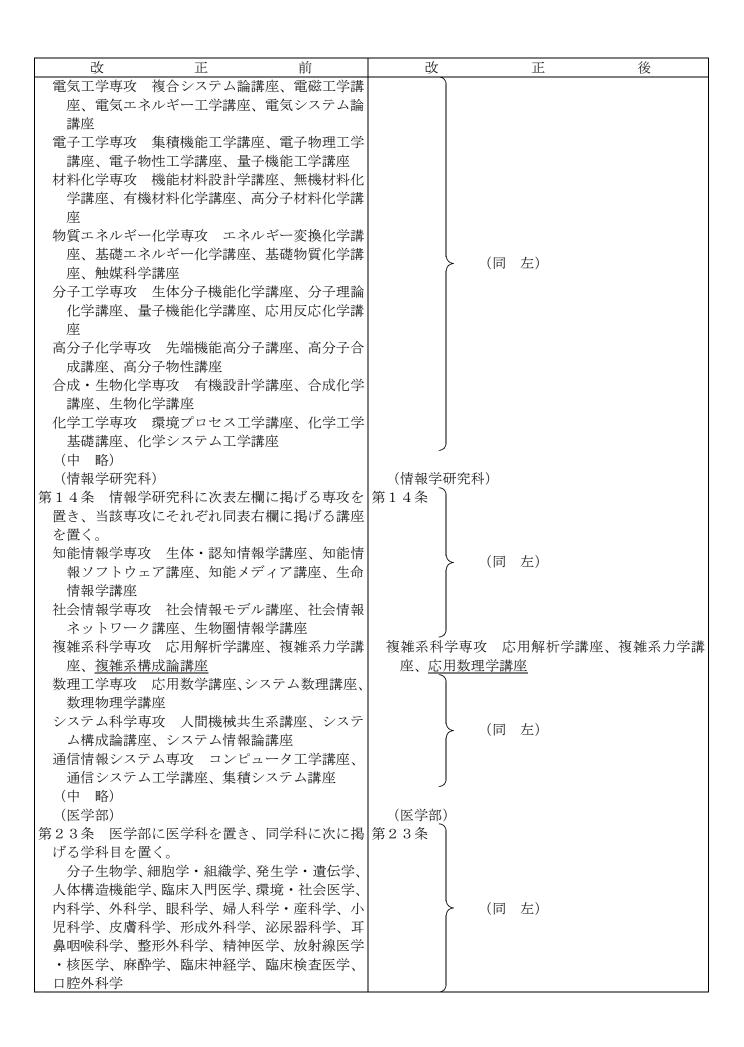
(工学研究科)

(同 左)

機械理工学専攻 機械システム創成学講座、生産 システム工学講座、機械材料力学講座、流体理 工学講座、物性工学講座、機械力学講座、バイ オエンジニアリング講座

(同 左)

材料工学専攻 材料設計工学講座、材料プロセス 工学講座、先端材料物性学講座、材料物性学講 座、先端材料機能学講座、材料機能学講座



改 IF. 前 改 īF. 後

2 医学部に保健学科を置き、同学科に次表左欄に 掲げる専攻を、当該専攻にそれぞれ同表右欄に掲 げる講座を置く。

看護学専攻 臨床看護学講座、家族看護学講座、 地域·老年看護学講座

検查技術科学専攻 基礎生体病態情報解析学講 座、臨床生体病態情報解析学講座、情報理工医 学講座

理学療法学専攻 運動機能開発学講座、健康運動 機能学講座

作業療法学専攻 作業機能開発学講座、作業機能 適応学講座

(中略)

(東南アジア研究所)

第39条 東南アジア研究所に、次に掲げる研究部|第39条 東南アジア研究所に、次に掲げる研究部 門を置く。

統合地域研究研究部門、人間生体相関研究部門、 社会文化相関研究部門、政治経済相関研究部門、 地域研究第一客員研究部門、地域研究第二客員研 究部門、東南アジア諸語文献客員研究部門

医学部に人間健康科学科を置き、同学科に次表 左欄に掲げる専攻を、当該専攻にそれぞれ同表右 欄に掲げる講座を置く。



(東南アジア研究所)

門を置く。

統合地域研究研究部門、人間生体相関研究部門、 社会文化相関研究部門、政治経済相関研究部門、 地域研究第一客員研究部門、地域研究第二客員研 究部門、地域研究第三客員研究部門、東南アジア 諸語文献客員研究部門

附則

- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。
- 経済学研究科の経済システム分析専攻、経済動 態分析専攻及び現代経済・経営分析専攻は、改正 後の第5条の規定にかかわらず、平成19年度以 前に当該専攻に入学した者が当該専攻に在学しな くなる日までの間、存続するものとする。
- 医学部の保健学科は、改正後の第23条第2項 の規定にかかわらず、平成19年度以前に当該学 科に入学した者が当該学科に在学しなくなる日ま での間、存続するものとする。